このプロジェクトは先住民族タカナ族と協働して、アマゾン森林の持続的な管理を強化します

ボリビア

タカナ族による持続可能な森林管理と生計向上プロジェクト

現地からのお便り（2024 年 7 月～2025 年 4 月）

2025 年 5 月

コンサベーション・インターナショナル

©CI Bolivia

ボリビア北東部に位置する Madidi 国立公園は、アンデス山脈からボリビアアマゾン入り口（海抜 200-1,200m）に跨り、変化に富む地形と気候条件から、世界有数の生物多様性の宝庫と言われています。しかし、近年農地転換と違法伐採が進み、加えて気候変動の影響により森林火災などの被害も年々拡大し、森林生態系への大きなプレッシャーを与えています。

当プロジェクトでは、周辺に居住する先住民族の Tacana 族コミュニティを対象として、彼らが主体となる森林管理能力を強化し、森林の持続的な活用と、地域の伝統的な暮らしを尊重した保全の体制づくりを目指します。また地域コミュニティが気候変動などに対してレジリエンス力を高められるよう、女性グループの活動支援を行います。

１． 森林保全活動

1-1. 対象コミュニティの選定

CI ボリビアは、タカナ族協議会（CIPTA）と連携して、先住民族居住区「Takana1」の各タカナ族コミュニティの持続可能な生計に関する調査を実施しました。この調査は今後の生計活動のベースになるもので、各コミュニティの今後の活動可能性として、非木材林産物、伝統織物、コミュニティツーリズム、アグロフォレストリー、サトウキビ栽培、小規模食品加工など 39 の様々な生計向上活動がリストアップされました。また、SWOT 分析では、タカナ族コミュニティの伝統的知見や商品の品質、自然資源へのアクセスが強みとなり、一方、資金調達、技術、マーケットへのアクセス、森林減少や気候変動が課題として挙げられました。また、エコツーリズム、オーガニック商品、フェアトレードが機会になると考えています。

これらの調査結果をもとに、経済的インパクト、実現可能性、持続性の側面から優先順位付けを行い、今後プロジェクトでは以下の活動に今後フォーカスしていくことになりました。

a) 事業者のビジネス管理能力の強化

b) 資金調達に関する研修

c) 商業ライセンスや食品衛生の許可取得に向けた各種サポート

d) マーケティング戦略の強化

e) 自然資源利用地域のモニタリング、野生生物生息地の保全、環境の法規制、リスクマネジメントに関する研修の実施

写真：コミュニティにおける持続可能な生計に関する調査の様子　©CI, Juan Corminola

1-2. 選定された対象コミュニティにおける活動計画の作成

初期調査結果に基づき、CIPTA リーダーと CI ボリビアチームで、特に可能性が高い 7 つの生計向上活動について、活動期間、バリューチェーンのタイプ、森林産物との関わり、裨益者数などの基準から最終的に候補となる活動の選定を行いました。加えて、同地域で活動を実施している Practical Action など他団体とも協議を行い、コミュニティの優先順位に沿って活動の分担や協力を行っていくことも確認しました。

一連の調査は、10 年間の活動期間を最大限活用し、長期的な視点から森林保全と生計向上に向けた投資を検討するための重要な位置づけになります。

２．生物多様性

2-1. CIPTA のモニタリングプログラムの強化

現行のタカナ族居住地域管理計画は 2025 年で終わり、現在新しい管理計画（2025-2035）の策定を進めています。新しい計画には、今後 10 年間で優先的に進める開発や保全事業を特定し、それらの進捗を測定するモニタリングや指標なども設定していきます。

改定作業は、CIPTA の主要メンバーが既存の 2015-2025 年計画における活動進捗の分析と検証など、計画の評価を行いました。参加型で実施することで、次の 10 年計画においてフォローすべき重要な事項を確認し、モニタリングプロセスに生かすことが可能になります。

新しい 10 年計画のプロジェクトではモニタリング方法の確立や、モニタリング実施に必要な能力強化を進めていく予定です。

３．コミュニティの生計向上

3-1. タカナ族の伝統織物の品質向上と販路拡大

タカナ族女性織物グループは、タカナ族の伝統織物を製作して販売する活動を行っており、コミュニティおよび女性の貴重な収入源になっています。特に 2022-2023 年シーズンは広域で大火災が発生し、森から食料が得られなくなった際に当活動の収入が人々の生活を大きく支えました。

しかし、今年度（2024 年 7 月～2025 年 4 月 ）の売り上げは大幅に減少し、昨年度（2023 年 7 月～3034 年 6 月）の売り上げが 233,699.86 ボリビアーノ （約 4,884,330 円）だったのに対し、今年度の売り上げは 64,577.55 ボリビアーノ （約 1,349,680 円）まで下がりました。売り上げの減少は、昨年度は積極的に販売キャンペーンを実施したことや、今年度は国全体が不景気だったことが挙げられます。また対象期間が今年度の方が短いということもありますが、月平均に

均しても昨年度は 19,474.98 ボリビアーノ （407,027 円）だったのに対し、今年度は 6,457.50 ボリビアーノ（134,972 円）となり、明確な差が生じています。

このような状況に対して、プロジェクトでは今後商品の品質向上や新商品の開発、また新規マーケットや販売チャンネルの開拓の技術支援を通じて、女性の織物活動が家庭の生活の安定に繋がる支援を行います。

タカナ族女性織物グループが都市部で作品を販売　©Pedro Laguna

3-2. タカナ族文化センターの改修

タカナ族文化センターはサン・ブエナベンチュラにあり、タカナ族の伝統文化を伝える拠点となっています。CIPTA はここにタカナ族の伝統工芸や手芸品の展示スペースと販売拠点を新設して、年間を通じてタカナ族の文化を伝えながら、収入の機会も増やしていくことを目指しています。センターの設備改修は 2027 年までの計画で、今年度は建物の改修計画の策定が終わり、必要な備品や資材の購入を進めています。

3-3. タカナ族女性織物グループのソーシャルメディアへのアクセス向上

ＣＩボリビアはタカナ族のオンライン販売の強化していくために、2024 年 7 月より各ソーシャルメディアでの商品プロモーションの改良を支援しました。当初目標である「ソーシャルメディアからのアクセスが 80%向上」は、7 月の開始から 3 か月で達成し、今後に向けた大きな手ごたえを得る結果となりました

ソーシャルメディアへのアクセスの増加とともに、伝統文化に紐づくストーリーテリングなどを通じてタカナ族女性織物グループのブランドの価値が高まったことで、都市部などより広いマーケットへの販路拡大に繋がり、女性の経済的な独立にもつながっています。

また、「アマゾン先住民族女性プログラム」の一環で、マイクロソフトの基本（ワードやエクセル）、予算管理、会計記録、在庫管理、コスト計算、予算の見積もり、ソーシャルメディア（Facebook）の活用など、織物グループ女性の能力向上に向けたワークショップが実施されました。
ワークショップは 2024 年 8 月 21 日から 12 月 4 日にかけてオンラインと対面を交えて行われ、学びを深めるためワークショップ後のサポートも行われています。さらに、参加者にはラップトップやプリンター、織物の材料が支給され、タカナ族女性織物グループからは 10 名の女性が参加しました。

3-4. 女性組織の能力強化

CI ボリビアはタカナ族女性評議会（CIMTA）を通じて、女性が直面している課題について調査を行いました。そして調査結果に基づいて、女性の意思決定への参加促進、女子の就学率の向上、女子の高等教育の促進、女性起業家のサポート、ジェンダー暴力の防止など、女性の能力向上プログラムの策定と実施能力や機会向上に向けたアクションプランが策定されました。これらに基づき、CI ボリビアは短期、中期、長期の女性能力向上とジェンダー平等プログラムを実施していきます。

3-5. タカナ族の組織強化

Takana 1 の居住地域には 23 のコミュニティが含まれますが、タカナ族居住区の権利などが法的に定められておらず、特に自然資源へのアクセスや土地の権利などが地域の人々の自然資源へのアクセスなどがあいまいで、コミュニティの人々が不利な状況に置かれることがしばしば起きます。そのため、CI ボリビアでは先住民族居住区が必要とする権利を法的に獲得できるよう、CIPTA の組織強化支援を行っています。

今年度はまず第一歩として、地域の主要ステークホルダーと今後の方針について協議を行いました。

(写真左)CI ボリビアチームがコミュニティを訪問　©CI, Juan Corminola
(写真右)タカナ族評議会（CIPTA）の会議の様子　©CI Bolivia

その他

4-1. ダイキンの視察訪問

2025 年 2 月、ダイキンと CI ジャパンスタッフがプロジェクトサイトの視察に訪れました。視察では、ルレナバケにあるタカナ族居住区の Takana 1 地区を訪れ、タカナ民族協議会（CIPTA）と、タカナ民族女性協議会（CIMTA）とタカナ族が直面する課題や自然資源管理に関して協議を行いました。また、生計活動支援の候補となるコミュニティの活動の視察も行いました。

写真：ダイキンからの視察　©CIPTA,Adalid

4-2. 広報活動

広報活動としては、ダイキンプロジェクトの 10 年間の活動の成果を 比較するため、プロジェクト 1 年目はプロジェクト裨益者数名のライフストーリーを集めました。同じ裨益者からは活動最終年にも話を聞く予定です。

4-3. 直面する課題

プロジェクトが直面している課題は、気候変動の影響で雨季が長引き、雨季の対象コミュニティまでの移動が困難になっていることや、ボリビアの経済状況の悪化がタカナ族女性織物グループの売り上げに影響を及ぼしたことなどが挙げられます。

また、プロジェクトの支援対象となるコミュニティの選定は、10 年間の長期活動という視点から、より慎重に選定が行われているため、当初計画より大幅に時間がかかっています。

4-4. 今後の活動予定

次年度 は対象コミュニティの選定と、そのコミュニティとの保全契約の締結が主な活動となり、関連して今後 10 年間の活動インパクトを計測していくためにベースラインの確認とコミュニケーション計画の検討などを進めていきます。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。